

追跡！「奇跡の手術」のその後

2010年4月13日、テレビで「悪性骨巨細胞腫（あくせいこつきょさいぼうしゅ）」という脊椎がんに侵された患者と、巨大化したがんを取り除く大手術に挑んだ金大病院の医師たちの活躍ぶりが全国放送され、大きな感動を呼んだ。患者はリハビリのため今も金大病院に入院中だ。術後の経過と現在の状況などについて患者と手術を執刀した整形外科の富田勝郎名誉教授（病院長）を訪ねた。



日本最強のチーム医療

2度にわたる大手術で、腫瘍を完全摘出

患者は、神奈川県に住む36歳の女性。治療は、腫瘍を全摘する外科的療法しかない。しかし女性患者は、地元の病院の主治医から「ここでは手術が難しい」ことを告げられる。腰の脊椎の半分以上にわたってがんが広がり、脊髄神経と大動脈、大静脈を圧迫している。脊髄神経にがんが食い込んでいれば切除もありうる。血管の圧迫は、血栓が脳や心臓に流れる危険性もある。脊髄神経を傷つせず、腫瘍をすべてとりぞく手術をこなすには、整形外科と他の診療科の協力を含めたチーム医療体制がしっかり整っている病院に任せるしかない。主治医はそう判断して、日本最強といわれる金大病院整形外科チームを紹介した。

2010年1月下旬、女性患者は藁にもすがる思いで金大病院整形外科の門をたたいた。面会した富田医師は「手術をしなければ危険な状態になる。自分たち以外、この患者さんを救うことはできない」と決断、かくして女性患者は、富田医師と金大病院整形外科チームによる2度にわたる大手術で無事、がんを取り除くことに成功するのである。

日常生活やデスクワークもOK!?

「経過は順調です。脊髄神経に食い込んだがんをいかに取り除くか苦労はしましたが、がんは完全に取除いたので大丈夫です。もう心配ありません。今後2～3か月リハビリを続ければ少しずつ歩けるようになるでしょう」

富田医師は、リハビリのため入院中の女性患者のその後の経過についてすこぶる順調に回復していると太鼓判を押した。本人はもちろん、家族も含めて今は笑顔でリハビリの毎日を送っている。しかし腫瘍と同時に体を支える脊椎骨も摘出しているため、自然に骨が付いて体を完全に支えるまでには2年程度はかかるという。

「日常生活を送るには大丈夫です。仕事もデスクワーク主体で、体にさほど負担がかからないものなら支障はないでしょう。だけど、いってみれば大黒柱の一部を切り抜いて入れ替えたわけですからやはり無理はできません。つらい思いをたくさんして最悪の状態から抜け出ることができたわけですから、そのことを忘れずに時間をかけてゆっくりと治すことです。しばらくすれば地元に戻ってリハビリできるでしょう」

富田先生や スタッフのチーム医療に支えられた

3月の下旬に2回目の手術をしてから1カ月以上が経過しました。まだベッドから起きあがれませんが、自力で車椅子に乗れるように毎日、腕の筋肉をつけるリハビリに励んでいます。足の指先が少しずつ動かせるようになって、腕の筋肉がついたり、リハビリをすることが自分の力になるということを実感できるので今はとても楽しいです。それに子どもからお年寄りまで周りにたくさんいらっしゃるので励みにもなります。

富田先生は今でも院内でときどきお会いしますし、声をかけてくださいます。最初にお会いした時の印象は、何が何でも治す、がんを根こそぎとってくれる、とてもやる気と情熱にあふれた先生でした。必ず目を見て話されるのもとても印象的でしたね。

私自身、金沢には覚悟をして来ました。手術で障害が残るかもしれないし、もしかしたら歩けなくなるかもしれない。それでも再発だけは絶対に嫌だったので、脊椎骨全摘手術を受けることに後悔はありませんでした。ともすれば悲壮感に陥りがちなとき、富田先生に「前向きに向かっていかないと治らないよ」と強く励まされました。また、チームの先生方やスタッフの皆さんも本当に温かく励ましてくださるんです。チーム医療という言葉は聞いてはいましたが、看護師さんやスタッフの皆さんが親身になってお世話してくださったのでとても心強く、安心して手術を受けられました。

手術が終わってからも、いまだに顔と名前がおぼえられないくらいたくさんの先生が、入れ替わり立ち替わり声をかけてくださいます。皆さんの力に支えられて大きな手術を乗り越えることができたと思っています。富田先生はじめスタッフの皆さんには本当にお世話になりました。心から感謝しています。

（患者さん談）

娘と初めて金沢に降り立った時、病院まで乗ったタクシーの運転手さんに話しかけられて「富田先生なら安心してお任せできますよ」という一言を聞かされてとても驚きました。

入院してしばらくは毎日のように娘と涙を流す日々が続きましたが、手術が終わってからは娘も私も見違えるように明るく、元気になりました。仕事を持っていますのでしょっちゅうは来れませんが、来るたびに娘の腕に筋肉がついているのがわかります。リハビリも今のところ順調ですし心から感謝しております。

（患者さんの母親談）